

学術認証フェデレーション(GakuNin)の「Shibboleth」システムに対応

認証アプライアンスサーバ「AXIOLE」に IdP 機能を搭載

大学教育機関等にシングルサインオンによる統合 ID 管理を提供

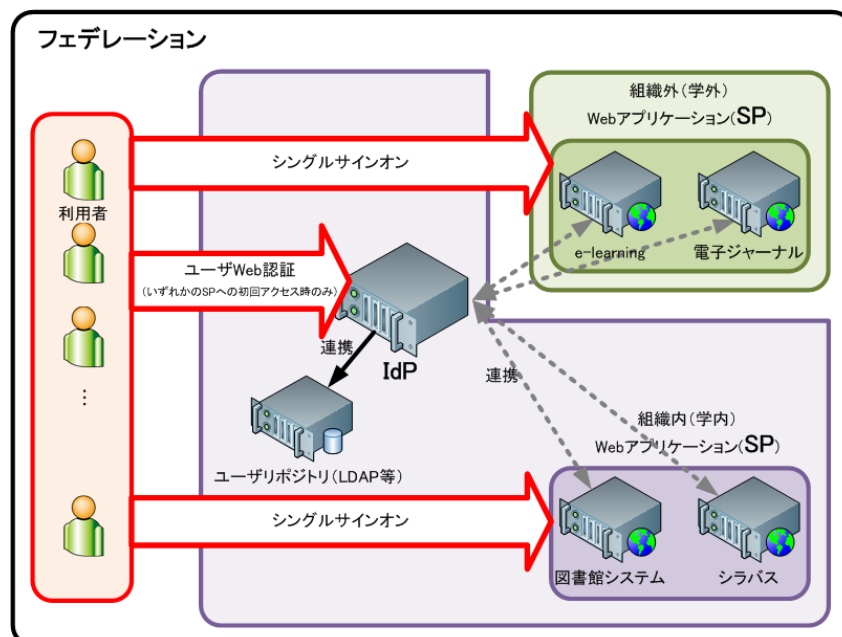
株式会社ネットスプリング（本社：東京都港区、代表取締役社長：西武 進）は、全国の大学等と国立情報学研究所 (NII) が連携して運用を開始している「学術認証フェデレーション」(学認：GakuNin) の相互認証連携システム「Shibboleth」への対応を開始し、学術教育研究機関向けに、異なる組織間でのシングルサインオンを実現する機能を提供していきます。第一弾として、当社の LDAP ベースの認証アプライアンスサーバ「AXIOLE (アクシオレ)」のファームウェアに Shibboleth の IdP (Identity Provider) 機能を「AXIOLE IdP オプション機能」として提供します。

AXIOLE に IdP オプション機能を追加することにより、大学や高专等の学術教育機関の各 Web アプリケーション間で認証連携によるシングルサインオンを可能にする統合 ID 管理システムが、オールインワンのアプライアンス形態で実現します。本機能は 2011 年 Q4 にリリース予定の次期 AXIOLE バージョン 1.10 と同時に提供を開始する予定です。

▼ Shibboleth によるシングルサインオン機能

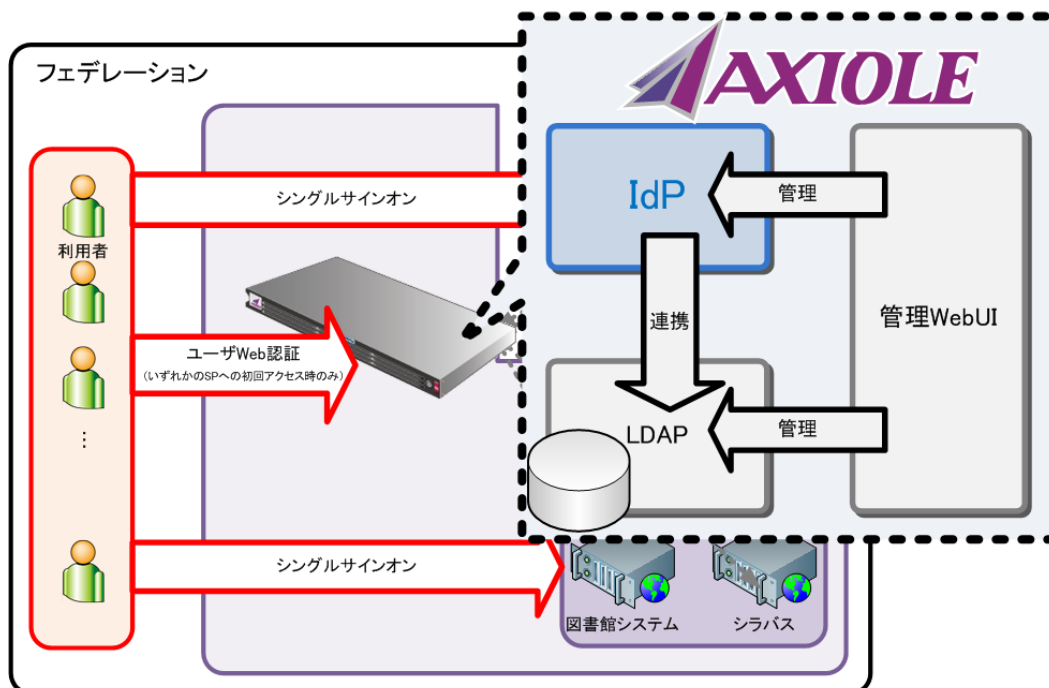
Shibboleth は、米国の産官学協同による次世代インターネット研究開発プロジェクト「Internet2」から生まれた仕様で、SAML (Security Assertion Markup Language) をベースとする Web シングルサインオン関連システムです。国内では NII が取りまとめた大学等により構成される連合体 GakuNin により、運用・展開されています。

組織間に連盟“フェデレーション”を構築、あるいは既存の連盟“フェデレーション”に参加し、ユーザ情報の参照方法などをフェデレーション内で信頼し合うことで認証の連携を実現するシステムです。フェデレーション内の Web サービス (Service Provider 化された) で一度 Web 認証を行えば、関連する Web サービス (同) へのシングルサインオンが可能となり、学内外の様々なサービス (コンピュータネットワーク、図書館、グループウェア、シラバス、e-learning 等々) を利用する場合にも一度の認証で利用が可能となります。



▼AXIOLE と IdP の一体化によるメリット

フェデレーションへの参加には Identity Provider (IdP) の構築が必要です。また、IdP 自身はユーザ情報を持たないため、LDAP 等のユーザリポジトリと連携する必要があります。AXIOLE では、本来提供している LDAP ベースの機能をユーザリポジトリとし、さらに装置内に IdP 機能も動作させることができるため、サーバ機器を増やすことなく IdP 環境の構築とユーザリポジトリとの連携までを容易に実現できます (AXIOLE 以外の製品では、別途、LDAP や AD (Active Directory) 等の認証サーバの構築および連携構築が必要)。また、AXIOLE の WebUI でユーザ管理を行いつつ、IdP の運用までも一体化が可能となります。



単位互換制度や学術連携など大学間での連携や、産学間での共同研究、人事交流など、大学を取り巻く連携・フェデレーション化の動きが拡大しており、そのネットワークの相互利用を迅速にする認証連携ニーズの増大化、複雑化も加速しています。ネットスプリングは、AXIOLE ほか当社製品に Shibboleth 関連機能を追加していくことによりこうしたニーズに応えるとともに、今後も大学等の教育学術機関の活動を支える情報ネットワーク認証の高度化、高効率化、利便化、安全化に寄与していきます。

■AXIOLE 「IdP オプション」の主な機能

- 連盟「フェデレーション」内での Web 認証機能と Web アプリケーション間シングルサインオン機能
フェデレーションに参加することで、フェデレーション内の複数の Web アプリケーション (SP) をシングルサインオンで安全に利用できるようになります。
- Shibboleth 向け (GakuNin 推奨) 属性等の定義を標準提供
学術機関向けに、Shibboleth (GakuNin) 環境で利用されることの多い属性等を予め定義してあり、職種、利用資格等の属性を AXIOLE の WebUI から編集することが可能になります。必要なメタデータ等のテンプレートが標準提供されます。
- 利用可能な Web アプリケーションの自動更新機能
フェデレーション内の Web アプリケーションが追加された場合、その情報は定期的に AXIOLE 内に取り込まれるため、自動的に新しい Web アプリケーションの利用が可能になります。
- Stored ID (persistent-id) の利用および管理
どこの Web アプリケーションからどのユーザが IdP の認証を受けたかという識別情報を AXIOLE 内部で持続的に保持。IdP 認証時にこの Stored ID を送信することで、Web アプリケーシ

ョン側においてユーザ単位で前回の情報を参照・自動復元等が可能です。また Stored ID の検索・ダウンロード・削除等の管理機能が提供されます。

●IdP ログ管理

AXIOLE の管理 WebUI で IdP ログの管理が可能。IdP による認証を受けたユーザ、Web アプリケーション、要求・応答の内容の参照や保存・転送等の管理が容易に行えます。

●IdP 機能の冗長化が可能

AXIOLE の冗長構成 (AXIOLE リダンダンシ構成) により IdP の冗長構成も可能に。

<その他の機能>

●外部のリポジトリ (LDAP や AD 等) 参照による IdP 専用アプライアンス化が可能

●専用の IdP 認証画面

IdP 認証時には AXIOLE 専用の認証画面が表示され、新たな認証ページの構築は不要

●一括バックアップ・リストア機能

AXIOLE および IdP 等の設定情報の一括バックアップ・リストア機能の提供

●IdP 認証に 2 つのネットワークインタフェース利用が可能

■AXIOLE 「IdP オプション機能」の提供

●標準販売ライセンス料金：1,000,000 円 (税別)

- ・ワンタイムライセンス料金 (一括払い)
- ・AXIOLE のアカウント数に依存しない一律料金
- ・AXIOLE 導入後にライセンス取得し IdP 機能を活性化することが可能

●リリース予定：2011 年 Q4 リリース予定の AXIOLE バージョン 1.10 と同時に提供予定

※AXIOLE バージョン 1.10 では、AXIOLE 間連携機能等が実装の予定です。

【AXIOLE の特長・機能、およびオプション機能について】

- ・LDAP ベースの認証基盤を 1 U のアプライアンス形態で提供
- ・スキーマ属性等 DB 設計が不要
- ・日本語 WebUI ベースの管理システムおよびエンドユーザ向け機能を提供
- ・RADIUS プロトコルにも対応
- ・Active Directory (AD) と ID 同期が可能
- ・AXIOLE 2 台による冗長構成が可能
- ・「LDAP スキーマオプション」

汎用的な LDAP 機能を提供 (有償)

- ・「クラウド連携機能 (Google Apps 連携オプション)」

AXIOLE と Google Apps 間の ID 同期機能を提供 (有償)

AXIOLE 製品ホームページ <http://www.axiole.jp/>

【学術認証フェデレーション(学認:GakuNin)プロジェクトについて】

学術認証フェデレーションとは、学術 e-リソースを利用する大学、学術 e-リソースを提供する機関・出版社等から構成された連合体のことです。各機関はフェデレーションが定めた規程 (ポリシー) を信頼しあうことで、相互に認証連携を実現することが可能となります。

認証連携を実現することができれば、学内でのシングルサインオン (一つの ID・パスワードであらゆるシステムが利用可能であること) を実現することが可能になるとともに、他大学や商用のサービスにおいても、1 つのパスワードを利用し、かつ ID・パスワードの再入力を行わずに利用できる環境を実現することができます。例えば、他大学の無線 LAN をいつも大学で使用している ID とパスワードで利用することができ、かつ自大学が契約している電子ジャーナルヘシームレスにアクセスすることも可能

となります。学術認証フェデレーションを利用することの詳細な利点については、こちら（[GakuNinの利点](#)）をご覧ください。GakuNin サイト：<http://www.gakunin.jp/>

また、産業界側の支援組織として、学術の情報サービス連携コンソーシアムも形成され、産学の「大」連携を目指した活動も行われています。ICTSFC コンソーシアムの詳細は、<http://ictsfc.org/partner.html> を参照下さい。学認との連携事例は、<https://www.gakunin.jp/docs/files/gakuninkouen11.pdf> などがあります。

<展示会出展のご案内>

7月7日～9日の3日間、東京ビッグサイトにおいて開催される展示会「教育ITソリューション EXPO」の小間番号：12-51にてネットスプリング製品 AXIOLE や FEREC 等の展示・説明を行います。皆様のご来場をお待ちしております。<http://www.netspring.co.jp/event/>

【ネットスプリングのその他の主な製品】

- ・ FEREC520 / FEREC720 / Center2 (Web 認証ゲートウェイ製品群)
FEREC 製品専用サイト：<http://www.ferec.jp/>
 - ・ SmartSignOn for FEREC (スマートサインオン) iPhone/iPad 版および Android 版アプリ
SSO4F 専用サイト <http://www.SmartSignOn.jp>
 - ・ SSOcube (汎用型シングルサインオンアプライアンス)
SSOcube 製品専用サイト：<http://www.SSOcube.jp/>
- ※記載された会社名および製品名などは、該当する各社の商標または登録商標です。

【株式会社ネットスプリング 会社概要】

- ・ 本社所在地：東京都港区三田 3-12-16 山光ビル 2F
- ・ 代表者：代表取締役社長 兼 最高経営責任者 西武 進 (にしたけ すすむ)
- ・ 設立：2000年3月
- ・ 資本金：8,075万円
- ・ 事業内容：ネットワーク関連製品の企画・開発・販売
ネットワーク関連の提案・構築・運用・サポート
コンピュータネットワークに関するコンサルティング
- ・ U R L：<http://www.netspring.co.jp/>

一般読者からのお問い合わせ先：
株式会社ネットスプリング マーケティング部
TEL：03-5440-7337 E-mail：info@netspring.co.jp

本件に関する報道関係のお問い合わせ先：
株式会社ネットスプリング 広報代理 (株) アルサープ 担当：河端・川口
TEL：03-5297-8808 E-mail：netspring-pr@alsarpp.co.jp